

茨城県かすみがうら市地域公共交通会議

平成20年10月9日設置
平成22年3月連携計画策定



概要

持続可能な交通システムの確保に向け、市民が利用しやすい効率的な公共交通ネットワークを整備するとともに、協働の取組により既存公共交通の利用促進を図るため、デマンド型乗合タクシーのルート再編、シャトルバスの実証運行等を実施する。

実施事業

○乗合タクシーの実証運行

(コミュニティバスの運行廃止とデマンド型乗合タクシーの運行見直し)

コミュニティバス運行区間では、バス事業に見合う利用者需要は期待できないと考えられるため廃止し、霞ヶ浦地域で開始されたデマンド型乗合タクシー(区域運行型)への統合を図る。とくに千代田地域への運行拡大とサービス水準の向上を図る。

○シャトルバスの実証運行

土浦方面への異動ニーズの対応、地域内移動の役割分担の明確化、千代田地域との公平性確保等の観点から、現在運行中の乗合タクシーのルートを再編成し、域外交通は幹線交通が担うものとしてシャトルバスの運行を図る。さらに、神立駅と主要観光施設を結ぶ観光シャトルバスを運行し、観光客の利便性向上や地域の活性化を図る。

○運賃制度の改善

乗継運賃の導入により公共交通利用による負担を軽減し、利用しやすい環境を提供する。

○モビリティマネジメントの展開

利用者が自らの努力で持続させていく公共交通であるという意識を持てるようなモビリティマネジメントを行い、継続して市民参画や公共交通利用を促進する。

○利用促進方策の実施

市民全体に便利な公共交通運行の周知を図るため、新交通システム利用ガイドの作成及び市ホームページへの掲載を行う。また、市への転入者に対し、公共交通マップや関連グッズを配付し、公共交通利用促進をPRする。

茨城県かすみがうら市地域公共交通会議：総合事業の実施区域

地域公共交通ネットワーク図

【千代田地域】

- 既存バス路線の運行サービスの向上
- デマンド型乗合タクシーの導入（区域運行）
 - ・コミュニティバスを廃止し、利便性の高いデマンド乗合タクシーとして再構築
 - ・千代田地域からあじさい館まで運行
- 乗継拠点として整備（神立駅、市川バス停、中貫バス停）

雪入ふれあいの里

○市川バス停近くの休憩施設



関鉄グリーンバス
9便/日

関鉄グリーンバス
9便/日

関鉄観光バス
17便/日

JR土浦駅
土浦協同病院方面へ

○広域幹線交通軸となる
関鉄グリーンバス



■シャトルバスの導入

- ・地域生活交通幹線交通として、市外の病院や商業施設へのアクセスを確保するため、乗継拠点と土浦方面を連絡するシャトルバスを導入（既存コミュニティバス車両の活用を検討）
- ・観光客の利便性向上と地域活性化のため、JR神立駅と市の東西の主要観光施設を結ぶ観光シャトルバスを導入する。

○シャトルバスとして活用
するコミュニティバス



○乗継拠点としてのあじさい館



【霞ヶ浦地域】

- コミュニティバスと乗合タクシーの統合
 - ・コミュニティバスと乗合タクシーを統合し、利便性の高いデマンド型乗合システムとして再構築
 - ・域外は千代田ショッピングモール、神立病院まで運行
- 乗継拠点として整備（神立駅、あじさい館等）

水族館前